

ー「いたちごっこ」でイタチに連敗中ですー

「野鳥と自然観察会」代表 生環11期 茅中 英一

5年前、村の各自然歩道の山間部に設置した50箱余の巣箱がヘビ、イタチ、カラス等に襲撃されるケースが増えて来ました。そして私達の高齢化もあり山間部での観察やメンテ等の作業が少しずつ困難になって来ました。そこで作業も楽になり、人間の往来がある駐車場周辺なれば、野鳥にとっても外敵からの抑止効果もあるのではと期待して、一昨年から巣箱を山間部から徐々に村内の駐車場周辺に移設しました。移設後の駐車場周辺での昨春の利用結果は良好でした。私達はスズメやツバメのようにヤマガラ達も私達人間の近くが安全と思ったのではと勝手な想像をしていました。現在はまだ被害がP2駐車場だけですがイタチの襲撃が増加し続けると、過去4年間

毎年160－180羽のヒナの巣立ち実績が今年は危ぶまれる状況です。(ヒナの1年生存率は10%未満と厳しい)

生物多様性のなかでの食物連鎖である程度のイタチの襲撃も止むをえませんが、今回のように巣箱が軒並み襲撃されるようになると、これ以上イタチに負け続ける訳にはいきません。知恵比べです。何方か良いお知恵はありませんか。



イタチに齧られる前(左)と齧られた後(右)の巣箱

わいず倶楽部との交流に思う

神戸ホテルの会 会長 生環9期 堤 健



3月10日に、読売新聞に事務局を持つ55歳以上の会員組織「わいず倶楽部」の「蛍プロジェクト」のメンバーとタンポポの会議室で交流会を実施しました。

彼らは、過去1年間各地のほたるを育てている組織から情報を収集、今後大阪市に蛍を飛ばすことを目標に準備中とのことでした。今、大阪城公園に飛ばせればと交渉を進めようとしていました。もし、5年程度で飛ばすことが出来れば大成功だと頑張っていました。

彼らの動きを見て、私共も活動の歴史が思い出されました。もう7年経過、昨年は日本庭園で6月6日に過去最高の136匹のゲンジボタルの飛翔を確認できました。後は、自然生育で、毎年飛翔を見ることが出来れば成功です。子供たちと一緒に自然学習を出来ることになります。しかし、今年は、飼育に失敗、写真のように3匹しか育てることが、出来ませんでした。ただ、昨年日本庭園で飛翔した蛍が育って、30%程度は飛翔することが過去の経験から予想で

きます。即ち40匹程度は飛ぶことが予想されます。6月に予定されている「菖蒲まつり」の夜間ライトアップ時に、一緒に観察できることを期待して、カワニナの供給に余念がない昨今です。

私共の活動は、「神戸ホテルの会」のホームページに詳しく載せてあります。是非確認ください。わいず倶楽部のメンバーもこのページを見て連絡してきました。

<http://www.us3.jp/souryu/hotaru/>



ホテルの幼虫